

「年輪」

No.855



◆コロナ関係

世界で4億を超え、日本で400万人を超えました。人口換算すると世界では20人に1人、日本では30人に1人が感染したことになります。オミクロン恐るべしです。

いくら水際対策を強化しても、どこからでも入ってきます。当院だけでなく、神戸市内の多くの病院が、コロナ患者をかかえ、職員にも感染者や濃厚接触者が相次ぎ、病院業務を縮小せざるを得ない状況が続いています。

神戸市の救急は「崩壊」に近い状態で、受け入れ先が見つからず、他都市へ搬送する事例もあるそうです。保健所も多勢に無勢で、陽性者のトレースは追い付かないようです。当院でも、予定手術のかなりの数を延期し、限られた病床をやりくりしているのが現状です。



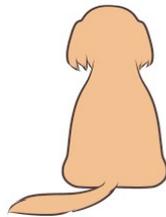
いい言葉 人格は後ろ姿に表れる

松下幸之助

入社する時はみんな「これからしっかり頑張ります」とよそ行きの顔をして、途中で退職するときは本音がでて捨て台詞を吐き、仕事の後始末をせずに辞めていく人がいます。

ホテルでもチェックアウト後の部屋をみると、人の人格が分かるといいます。電気はつけっぱなし、部屋は乱れたまま、パジャマは脱ぎっぱなし、備品は使いたい放題の紳士淑女がいるそうです。

幸之助さんは面接で部屋から出ていく受験生をずっとみて、「人間はな、こんな狭い部屋でも、入ってくるときはみんなよそ行き。出ていく後ろ姿に普段の生活があらわれるのや」と言ったそうです。



◆「親切」は驚くほど体にいい

デイビッド・ハミルトン

脳内ホルモン「オキシトシン」は幸せホルモンと呼ばれ、この分泌が高まるほどに人は幸せを感じるだけでなく、実際健康を高めていきます。

授乳中のお母さんはオキシトシンが大量に出ているため幸せを感じているともいわれています。

人に親切にすることによってこのホルモンの分泌を高め、自分も幸せを感じ健康になれるのです。インターロイキン6という炎症物質を抑えることで痛みも和らぎます、オキシトシンによって血圧も下がります、迷走神経の働きをたかめるので気分が和らぎ食欲もわき、良い睡眠がとれるようになります。親切は概念ではなく生き方です。親切によって心が温かくなれば悪いふるまいも自然と減ってきます。

情けは人の為ならずです。お先のどうぞといった回数で自分の健康を幸福が決まるのです。



縁の下の力持ち④ 警備室

これぞまさしく「縁の下の力持ち」といった部署です。淡井さんと岡田さんが、警備の腕章を腕にはめ、院内を巡回しています。

出入りが自由な病院には色々な人がきます。二人とも穏やかな顔立ちですが、その筋の人、変な人、怪しい人。本当に悪い人は、この腕章をつけた警備担当を見ただけで、「この病院はやばい！」と思ってすごすごと立ち去るでしょう。

有形無形に、院内の安全に大きな役割を担っている部署です。職員が本当に頼りにしています。保育所の見回りもしてもらっていて、保育士も安心してしています。

◆今週の院長予定

2月21日	月	8:00運営会議、17:30薬事審議会、18:00治験委員会					
2月22日	火	9:00外来、14:00手術、17:30業務改善委員会					
2月23日	水	天皇誕生日					
2月24日	木	松江					
2月25日	金	9:00外来、14:00手術					
2月26日	土	9:45新須磨クリニックで健診業務、14:00介護の家往診					